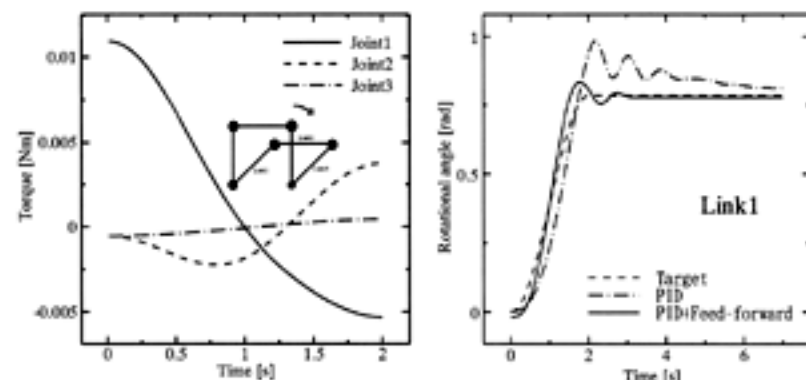


各種リンク機構に統一的に適用可能な並列的逆動力学計算法

〔技術・製品の概要と特徴〕

有限要素法を用いた各種リンク機構に適用可能な逆動力学計算法。要素座標系における個々の要素の離散情報を全体座標系の情報に変換してから重ね合わせる、並列的なアプローチをとる。このため、各節点に働く節点力は並列的に求められ、これを関節トルクに変換することで逆動力学が計算される。開・閉リンク機構はもちろん、柔軟リンク機構に対しても計算アルゴリズムの変更は必要なく、入力データを変更するだけで柔軟に対処できるようになる。



閉リンク機構のトルク曲線

制御結果

並列的逆動力学計算法によるリンク機構のフィードフォワード制御

〔用途〕

- (1) 開・閉・柔軟リンク機構の動力学を考慮した逆動力学計算・フィードフォワード制御
- (2) 形態が変化するリンク系の逆動力学計算・フィードフォワード制御
- (3) 混在型リンク系の逆動力学計算

〔希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域〕

- (1) 特許実施権供与、共同研究開発
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内・海外いずれでもよい

〔開発段階〕

試作・実験（進行中） 販売実績（無）
関連特許（有）

〔提供可能資料など〕

技術資料、パンフレット